

令和3年度事業報告

【総括】

令和3年度は、前年から猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらず、当協会の年間事業も帯広市で開催を予定していた全道身体障害者福祉大会の中止をはじめ、多くの事業・各種の会議等が開催できず、それは各協会独自事業も同様でありました。

また、令和3年4月からは、事務局長が交代し、新たな事務局体制でスタートしました。そのような中でしたが、構成団体の皆様方のご協力によりまして、何度か延期となった定時総会や事務局長・事務担当者会議を令和3年11月に無事開催することができました。

【事業の概要】

1 協会の適切な運営

- (1) 定時総会 令和3年11月9日(火)道民活動センタービルにて開催
- (2) 理事会 5回、道民活動センタービル等にて開催
三役会 3回、定時総会開催に向け、道民活動センタービル等にて開催
- (3) 監事会 コロナ感染予防のため、中止、書類による監査実施
- (4) 全道大会推進委員会 北身協会長表彰被表彰者の選考のため、書面開催（コロナ感染予防対策）
- (5) 組織検討委員会 令和4年3月29日(火)道民活動センタービルにて開催
- (6) 加盟団体事務担当者会議 令和3年11月22日(月)道民活動センタービルにて開催
- (7) 正会員会費検討ワーキンググループ

2 第70回全道身体障害者福祉大会・帯広大会

令和3年10月3日(日)コロナ感染予防のため、中止

3 組織強化活動

- (1) 組織検討委員会 令和4年3月29日(火)道民活動センタービルにて開催
- (2) 加盟団体事務担当者会議 令和3年11月22日(月)道民活動センタービルにて開催

4 自主財源の確保

- (1) にっしんれん収益事業 令和3年度は前年とほぼ同額の民間団体助成金を確保した。
- (2) 自動販売機収益事業

5 啓発・広報と組織活動

- (1) 機関紙「北海道身体障害者新聞」の発行
令和4年3月現在 隔月25日・8,300部発行

(2) ホームページの充実 スマートフォン対応となり、内容も順次更新

6 他組織との相互協力・連携

(1) 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会

日身連評議委員会 定例会 年2回 書面決議

令和4年3月29日オンライン開催

第66回日本身体障害者福祉大会

令和3年6月28日(月) ライブ配信

JR ジパング倶楽部への加入促進・更新手続 令和4年3月末日現在加入数

約60名

(2) 東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会団体長等会議

令和3年10月14日(木) オンラインにより開催

(3) DPI北海道ブロック会議

共通の課題等について共働を進めた。

7 身体障がい者雇用促進・社会参加支援事業

当初9団体から計画が提出され、5団体は開催したものの、コロナ感染防止のため、4団体が中止となった。

8 情報通信技術講習会開催事業の実施

パソコン教室の開催 令和3年7月～11月にかけて道内7会場(各会場3日間)にて開催(岩見沢市、石狩市、滝川市、砂川市、紋別市、登別市、美唄市) コロナ感染防止のため中止(帯広市、網走市)

パソコンボランティアの派遣事業の実施 派遣件数0件

パソコン貸与事業の実施 パソコン所有状況…ノートパソコン10台、貸与実績48台

9 北海道障害者社会参加推進センターの運営

センター総会 令和4年3月コロナ感染防止のため、書面開催

障害者110番 毎月第4火曜日 弁護士2名委嘱

広報資料の作成・配布(リーフレット)

生活訓練事業 当初11団体12事業の計画が提出されたが、コロナ感染防止のため、9団体10事業の開催、2団体2事業の中止となる。

盲ろう者通訳・介助員派遣 2名利用 68回の派遣。

広報資料の作成・配布(リーフレット)

盲ろう者通訳・介助員養成講座

令和3年10月9日(土)～10月31日(日) 8日間/48時間

道民活動センタービルにて開催

(札幌・旭川その他北海道全域)

盲ろう者通訳・介助員現任研修

令和3年11月6日(土)～11月7日(日) 2日間/12時間

道民活動センタービル等にて開催

10 奨学金事業の推進「奨学金管理運営委員会」による運営

(1) 道新コスモス奨学金 奨学生70名 奨学金年額6万円

11 障がい者スポーツ大会等への後援

(1) 後援依頼のあった団体への名義後援の実施

12 加盟団体会費

会費の算定に当たっては、様々なご意見がありましたので、加盟団体を代表する6地域の事務局長に加え、北身協の事務局長が事務局として参加し、ワーキンググループを立ち上げ検討を実施